

ニューズレター ヘリンガー・インスティテュート・ジャパンより
News-letter from Hellinger Institute Japan

このメールは、これまでに小林真美（チェトナ小林）のファミリー・コンステレーション、システムミック・コンステレーションのワークショップにご参加いただいた方々に、お送りしています。

2-2014年6月

「お金と自分と父親と祖父と生命の関係」

こんにちは。

ヘリンガー・インスティテュート・ジャパンのチェトナです。

今週末に「お金は愛の表現」というテーマでワークショップをやることから、今日はちょっと「お金と自分と父親と祖父と生命の関係」についてお話してみたいと思います。

清々しい季節の5月に、ドイツで2001年から毎年インテンシブと称して、英語によるシステムミック・コンステレーションの集中講座があります。そこには世界中から100名前後のセラピストや精神科医やカウンセラーの方々が参加します。

私は2001年から2002年にかけて、お金にまつわる非常に深い体験をしました。そこから得た知識と理解を、コンステレーションを通して他の人に伝えなくてはいけないという、なぜか強い思いが湧き上がり、2003年から数年間、毎年ドイツのインテンシブに行く度に、自分の研究を発表する場をもらい、お金と愛の関連を理解するためのワークショップを開いてきました。

そのワークショップは大盛況で、初めて披露した2003年は、インテンシブ全参加人数の半分にあたる50人くらいの参加者が集まり、2名の方のコンステレーションを立て、明るく喜びに満ちた大成功のワー

クショップとなりました。翌日からはその参加者たちによる自主勉強会まで立ち上がるという、ちょっとしたブームが巻き起こりました。

毎年、インテンシブの度に、私がまたお金のワークショップをやってみせることを楽しみにしてくれる人もあって、自分のワークを受けたいと順番待ちをしている人まで現れました。

そこで私がシェアしたことを、自分の国に持ち帰って、自分のクライアントを助けるために活かしてくれた人たちが何人もいて、いくつかの嬉しい報告ももらっています。

アメリカでネイティブ・アメリカンの居留地で援助の仕事をしているセラピストが、その居留地で行ったワークショップで、私が伝えた方法を実践した結果を教えてくださいました。

ネイティブ・アメリカンの居留地の中の生活は失業や暴力、アルコール依存やレイプ事件が多発し、すさんでいることが多いのです。

祖父母、曾祖父母の世代が虐殺されたり、迫害されたりしていることから、世代を超えてトラウマが受け継がれ、後の世代は生きる力を失い苦しみます。

ワークショップの中でそのセラピストは、ある男性にお金と向き合うことができるようになるためのコンステレーションを立てました。彼はそれによって誇り高い戦士だった祖父のエネルギーを自分の中に見出すことができるようになり、その後、自分で商売を立ち上げ、家族を守ることができる男へと変化したそうです。

メキシコのある女性セラピストは、毎年その私のドイツでのワークショップを心待ちにしてくれるようになり、毎回参加し、方法を吸収していきました。あるとき、インテンシブの宿泊施設である修道院で、私を部屋に招待してくれて、メキシコから持ってきたというお土産をくれました。金色のコイン型のチョコレートです。そして報告してくれました。

彼女は、お金をテーマにワークショップを開催するようになり、大成功したそうなのです。

あるとき、若い女性がワークショップに参加しました。その若い女性の父親はギャングのボスで、父親がどれほどの犠牲の上にお金を儲けているかを想像すると、申し訳なくて、罪悪感に苛まれて、父親を見るのも嫌で大嫌いで、お金も血塗られているようで受け取ることなどできないと言うのです。

セラピストは、本人と父親の行為と、父親の愛情と、お金の代理人を立て、その動きが現す意味を彼女に伝えました。お金が目的にされてしまったときと、お金が手段になったときの意味は全く違うのです。お金は彼女が赤ちゃんのときのおむつにも、ミルクにも、淡いピンクの小さなドレスにも、ベビーカーにもなり、愛らしい幼子(おさなご)の写真の現像代にもなっていたことを彼女は知りました。父親と彼のやっていること、愛とお金を全部ひとまとめにして嫌う必要がないことを彼女は初めて理解することができたのです。そして、自分がどれほど父親に愛されていて、自分が父親を愛しているかを感じ取りました。

全員とは言いませんが、多くの人に当てはまることがあります。

お金を作るエネルギーは父方のエネルギーに関連していることが多く、父親から愛情や生命エネルギーを惜しみなく受け取ることができる人、そして父親がその父親である祖父と強い絆で結ばれているとき、お金に限らず色々なものを受け取ることが容易になり、可能となっていきます。

問題は、日本では戦中、戦前世代の祖父母たちと、戦後世代の親たちが、生命エネルギー的に、文化的に分裂し、分断され、絆が断ち切れていることが多く、そのために子供世代はお金も含めてとてもたくさんのもを受け取ることが非常に下手になっています。

そんなことから、ここで再び、それらのことに身に覚えのある方のためにワークショップをやろうという運びになった次第です。

ワークショップは今週末、働きかけはあと1名だけ受けられます。

6月21日（土）&22日（日）東京 江東区文化センター

こんなテーマでワークショップを開催します。

「お金は愛の表現—自分の投影を取り除くとき—お金に限らず、コンステレーションを使って様々な投影から自由になるための2日間」

エクササイズを通して全員に体感していただきますが、個人の問題の働きかけもします。

この日程でも開催します。

8月 2日（土）& 3日（日）札幌

9月 6日（土）& 7日（日）東京

詳細はこちらに。

http://www.hellingerinstitutejapan.com/schedule/2014_06tokyo.pdf

今週末です。

働きかけはあと1名受け付け可能です。

お申し込みはお急ぎください。

<http://www.hellingerinstitutejapan.com/formbook/index.cgi>

追伸：ブログもやっています。

http://blog.livedoor.jp/chetna_by_the_river/

時々、ツイッターでもつぶやきます。Chetnats

<https://twitter.com/chetnats>

フェイスブックも、やってたりします。

よかったら覗いてみてください。

<https://www.facebook.com/chetnamami.kobayashi>

小林 真美 (チェトナ小林)

ヘリンガー・インスティテュート・ジャパン

札幌オフィス：TEL:011-662-9576

<http://www.hellingerinstitutejapan.com/>

E-mail:info@hellingerinstitutejapan.com

千葉オフィス：市川市